



山北っ子

～やさしい子 考える子 がんばる子～
山北小学校だより 第14号 文責 坂井ルミ

本橋 馨さんの 生き方から学ぶ



本校、藤木裕子教諭のご縁により、長年、「テレビタミン」で活躍された本橋馨さんを講師としてお招きし、自分のこれまでの歩みから感じたことや気づいたことなどを5・6年生の児童にお話していただきました。

本橋さんと児童との「キャッチボール」(言葉をボールに置き換えて)から始まり、日頃自分が、友達とどのような関わりをしているかを振り返るきっかけをもらいました。

本橋さんの中学・高校時代、周りから言われたように進み長続きしなかった経験から、人の意見に流されていると、自分の本当の気持ちが見えなくなり、努力してもどこか苦しくなってしまうこと。だからこそ大切なのは、「自分は何をしたいのか」をしっかりと見つめること。小さな興味、ちょっと気になること、やってみたら少し楽しかったこと、その小さな“種”が、自分の本当の目標につながる可能性を持っていること。そして大事なものは、止まらない小さな積み重ね。どんなに小さな一歩でも、続けていれば必ず前に進んでいる。自分のやりたいことを大切にしながら、小さくていいので一歩を積み重ねること。それこそが、誰かのためではなく“自分の人生を生きる”ための、本当のキャリアの始まりであることを学びました。

「春」の訪れを感じる今日この頃です！来週は…いよいよ 3月

2月19日は、二十四節気の「雨水(うすい)」でした。雨水は、日本の季節の目安となる二十四節気のはじめから2番目の節気で、寒さがしだいにゆるみ、雪が雨に変わるところのことを言います。積もっていた雪が解けはじめ、水に変わる頃という意味もあり、昔から春の耕作を始める目安ともされていました。春を告げる花たちが、可愛い衣装に身を包み、そろそろ出番を待つ頃となりました。来週は3月の声を聞きます。ラストスパートの時期を迎えます。厳しい冬の寒さを乗り越えて、春に向けて前進している花たちの姿に習い、自分らしい自分の花を咲かせるために一歩一歩たゆまぬ歩みを重ねつつ、常に前進できる自分でありたいものです。



山北八幡宮春祭り

2月19日(木)は、地域の伝統行事の山北八幡宮春祭り奉納相撲に5・6年生男子が参加しました。当日は、少し肌寒くはありましたが、天候にも恵まれ5・6年生女子や保護者の皆様・地域の方々の声援を受け、白熱した対戦の連続でした。

